

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3 -	循環型社会の形成を推進する	環境部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				31年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
1人1日当たりのごみ排出量(年間)	g	871	853				856
ごみの資源化率	%	25.4	26.4				26.6
関連事業							
ごみの減量化・資源化促進事業 食品ロス削減・フードバンク活動支援事業 可燃ごみ戸別収集導入検討事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		6,065					
執行率(%)		87.70					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進」</p> <p>市民団体への助成等を通じて、コロナ危機にあっても各地区の自主的な取組を促進し、ごみの減量化、資源化を推進しました。</p> <p>「食品ロス削減、フードバンク活動の支援」</p> <p>食品ロスを削減するため、市民団体と協働事業で食品ロス対策WEBシステムの構築を支援しました。</p> <p>「可燃ごみの戸別収集」</p> <p>家庭系可燃ごみの戸別収集を市全域に導入していく場合の影響や効果等を把握するため、令和元年10月から開始したモデル地区(3地区)での社会実験を継続しました(令和3年3月末終了)。モデル地区住民アンケートや戸別収集の今後の方向性のパブリックコメントの実施結果を踏まえ、市全域での戸別収集の実施に向けて取り組むこととしました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進」 ごみの減量化や資源化に向けた市民に対する一層の啓発が必要です。</p> <p>「食品ロス削減、フードバンク活動の支援」 食品ロス削減、フードバンク活動を安定かつ持続的なものにするため、食品ロス対策WEBシステムの利用登録事業者を増やしていく必要があります。</p> <p>「可燃ごみの戸別収集」 戸別収集の市全域での実施に向けて、実施エリアを拡大していく必要があります。実施エリアの拡大に当たっては、車両や作業員の不足が見込まれるため、民間活力の導入が必要となります。</p>	<p>「ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進」 ごみに関する情報提供や啓発等を行うことにより、市民の自主的な取組も促しながら、ごみの排出抑制、減量化及び資源化に繋げていきます。</p> <p>「食品ロス削減、フードバンク活動の支援」 食品ロス対策関連イベント等の実施やPR活動を支援し、事業の定着を促します。</p> <p>「可燃ごみの戸別収集」 実施対象エリアの拡大順序、直営収集と民間活力による収集との業務分担、民間活力の導入範囲やスケジュール、事業者の選定方法等を検討します。</p>